

「もうこの会社でおまえの顔を見たくない！」

10代のころ、コロンボでいちばん大きな旅行代理店でガイドをしていたとき、社長からこう怒鳴られた。同僚とのあいだに起こったちよつとしたトラブルが原因だった。同僚を特別可愛がっていた社長は、シャーンタの言い分も聞かず一方的に責め立てたという。

「だったら出ていいってやる。今度は俺の会社であんたの顔を見たい！」

売り言葉に買い言葉だった。席を蹴って立ち上がったシャーンタは、振り向きざま、社長の顔にその言葉を投げつけたという。

4年前、シャーンタのつくつたりオントロイヤルがスリランカ人企業として初めてJATA（日本旅行業協会）のカンファレンスにブースを出した。会場には世界各国の旅行会社が提携先を探してやってくる。リオントロイヤルのブースの前に一人の客が立ち止まつた。あの社長だった。相手は自分に気づかない。その社長を招待すると「自分のオフィスに連れ帰り、おもむろに切り出した。

「僕のこと憶えてますか？」

15歳で家を出て、どうすれば大きくなれるか、そればかり考えていた。とりあえず24歳までに会社をつくると決め、日本でそれを実現した。1台の中古ワゴンの売買から始めた中古車ビジネスは、現在の主力事業になっている。次の目標は「35歳までにスリランカの国会議員になる」ことだ。

故郷の知人へ中古車を送った。それがすべてのビジネスの始まりだつた

シャーンタ・ ウイクラマシンハ

(32・スリランカ)
Shantha Wickramasinghe

●有限会社リオントロイヤル
代表取締役

'69年、スリランカ・コロンボ生まれ。20歳で日本に語学留学。鉄工所のアルバイトをしながら日本語学校を卒業。'94年、中古車売買の「ゆみらんか」(現リオントロイヤル)を設立。現在は貿易事業や観光事業にも手を広げている。年商1億4000万円。



Japanese Dream

~ゼロから「億万長者」になった在日外国人たち